

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成30年2月8日 (2018.2.8)

【公開番号】特開2017-164106(P2017-164106A)  
 【公開日】平成29年9月21日 (2017.9.21)  
 【年通号数】公開・登録公報2017-036  
 【出願番号】特願2016-50587(P2016-50587)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月20日 (2017.12.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、  
遊技媒体が流下可能な遊技領域を有する遊技盤と、  
前記遊技盤を覆うように取り付けられる遊技枠と、  
 遊技中に遊技者が触ることが可能な位置に設けられ、動作可能な第 1 可動物と、  
 遊技中に遊技者が触ることが不可能な位置に設けられ、動作可能な第 2 可動物と、  
 第 1 条件が成立したことにともづいて前記第 1 可動物の位置の監視を実行し、前記第 1  
 条件と少なくとも一部が異なる第 2 条件が成立したことにともづいて前記第 2 可動物の位  
 置の監視を実行する監視手段とを備え、  
前記第 1 可動物は、前記遊技枠に設けられている  
ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記第 1 可動物は、外力が加えられた場合の破損を防止する破損防止手段を備えた  
請求項 1 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

(手段 1) 本発明による遊技機は、遊技を行うことが可能な遊技機であって、遊技媒体  
が流下可能な遊技領域を有する遊技盤 (例えば、遊技盤 6 ) と、遊技盤を覆うように取り  
付けられる遊技枠 (例えば、遊技枠 2 0 0 ) と、遊技中に遊技者が触ることが可能な位置  
に設けられ、動作可能な第 1 可動物 (例えば、第 1 可動物 2 9 ) と、遊技中に遊技者が触  
ることが不可能な位置に設けられ、動作可能な第 2 可動物と (例えば、第 2 可動物 1 9 )  
 、第 1 条件が成立したことにともづいて第 1 可動物の位置の監視を実行し (例えば、演出  
 制御用 CPU 1 0 1 におけるステップ S 9 0 0 1、S 9 0 0 3、S 9 0 0 5、S 9 0 0 6  
 、S 9 0 0 7 の判定にともづいてステップ S 9 0 1 0、ステップ S 9 0 1 1 を実行する部

分)、第1条件と少なくとも一部が異なる第2条件が成立したことにもとづいて第2可動物の位置の監視を実行する(例えば、演出制御用CPU101におけるステップS9101、S9102の判定にもとづいてステップS9103、ステップS9104を実行する部分)監視手段とを備え、第1可動物は、遊技枠に設けられていることを特徴とする。そのような構成によれば、可動物に不具合が生じる可能性を低減することができる。また、遊技枠の装飾効果を向上することができる。